

社会環境医学

科目到達目標:健康、疾病を取り巻く社会的環境についての知識と考え方を習得する

科目責任者(所属教室):尾崎 米厚(環境予防医学)

回数	月日	時限	講義室	講義内容	担当者	分野・診療科	到達目標	講義のキーワード
1	9/29(火)	1	121	疾病の概念	尾崎 米厚	環境予防医学	健康、障害と疾病の概念を説明できる	健康の定義、健康水準の尺度、健康の権利、WHOの定義
2	9/29(火)	2	121	社会構造と健康・疾病	黒沢 洋一	健康政策医学	家族、コミュニティ、地域社会、国際化と健康、疾病との関係を説明できる	家族、地域社会の変貌、人口構造の変化、労働力人口の変化、高齢化の特徴、国際化
3	9/30(水)	1	121	衛生行政	尾崎 米厚	環境予防医学	国際的公衆衛生行政の動向と厚生行政、健康危機管理、衛生行政の意義と内容を説明できる。	公衆衛生医、厚生行政の実際、医療政策、ヘルスプロモーション、ハイリスクアプローチ、ポピュレーションアプローチ、ソーシャルキャピタル、健康危機管理
4	9/30(水)	2	121	環境と健康	黒沢 洋一	健康政策医学	環境と健康・疾病との関係(環境と適応)を理解する。	環境と適応、適応の例、環境要因の分類、ホメオスタシス、主体環境系、環境形成作用、社会的適応
5	10/6(火)	1	121	保健、医療、福祉システム	尾崎 米厚	環境予防医学	医療制度、福祉制度、わが国の保健医療福祉システムの特徴を説明できる。	医療制度改革、医師確保対策等医療政策のトピックス、保健医療福祉制度の国際比較、医療法、医療計画、医療体制、医療従事者
6	10/7(水)	1	121	労働衛生、産業保健	能勢 隆之 (非常勤)	健康政策医学	産業保健(労働関係法規を含む)を概説できる。	労働基準法、労働安全衛生法、産業医、作業環境管理、作業管理、健康管理、労働災害、職業性疾病、じん肺、放射線、職業性腰痛
7	10/7(水)	2	121	環境と健康 考え方と事例	福島 哲仁 (非常勤)	環境予防医学	環境と健康についての考え方の基本を整理。	リスク、安全、安心、リスクコミュニケーション、環境と健康
8	10/13(火)	1	121	生態系、環境の変化と健康	大西 一成	健康政策医学	生態系の変化と健康、地球環境の変化と健康との関連が説明できる	地球環境の変化、温暖化、生態系への影響、黄砂、PM2.5、大気汚染、水質汚濁、水問題、乾燥地、生体循環、生体濃縮、室内大気汚染、ディーゼル排気、環境基本法、酸性雨、オゾン層破壊、エルニーニョ
9	12/22(火)	3	121	環境保健 公害対策	尾崎 米厚	環境予防医学	環境汚染と健康、公害病について概説できる	四大公害病、薬害、現代の公害、世界の公害、公害対策
10	10/14(水)	2	121	母子保健、学校保健	金城 文	環境予防医学	母子保健および学校保健の実態、母子保健対策や学校保健対策の概要を説明できる	母子保健法、出産・育児に関する制度、母体保護法、母子保健統計、児童福祉法、児童虐待防止法、妊産婦への施策、疾病や障害を持った子供の支援策、学校保健安全法、校医、養護教諭、学校健診、学校感染症、等
11	10/20(火)	1	121	環境発癌物質	黒沢 洋一	健康政策医学	生態系の変化が健康と生活に与える影響(環境発癌物質)。	ダイオキシン、電磁波、放射線、職業性曝露物質
12	1/8(金)	4	121	成人保健	尾崎 米厚	環境予防医学	成人保健の実際、成人保健対策の概要を説明できる	健康増進法、健康日本21(2次計画)、生活習慣病対策、特定健康診査、特定保健指導、がん対策基本法、がん診療連携拠点病院、がん対策推進基本計画
13	10/21(水)	2	121	在宅医療、終末期医療、へき地医療	金城 文	環境予防医学	在宅医療、終末期医療、へき地医療の実際と課題を説明できる	終末期ケア、緩和ケア、地域医療、へき地医療、離島医療、在宅医療、家庭医療、地域包括ケアシステム
14	10/27(火)	1	121	社会福祉、障害者福祉	天野 宏紀	健康政策医学	社会福祉制度、障害者福祉の概要を説明できる	社会保障制度、障害の概念、国際生活機能分類、ノーマライゼーション、バリアフリー、ユニバーサルデザイン、QOL、障害者の福祉施策、障害者基本計画、障害者手帳、在宅障害児・者、障害者総合支援法、社会福祉、地域福祉、生活保護、医療扶助
15	10/28(水)	2	121	精神保健、難病	金城 文	環境予防医学	精神疾患の実態、精神保健対策の概要、難病対策の概要、主な難病について説明できる。	障害者自立支援法、精神保健指定医、任意入院、措置入院、医療保護入院、精神医療審査会、自立支援医療、精神通院医療、精神保健福祉法、精神保健福祉センター、精神障害者保健福祉手帳、自殺対策、発達障害者支援、高次脳機能障害、心身喪失者等医療観察法、こころのバリアフリー、特定疾患、難治性疾患、指定医、難病医療拠点病院、難病医療支援ネットワーク、難病医療コーディネーター、難病医療地域基幹病院、難病の医療費助成、難病情報センター、難病相談・支援センター、難病患者就労サポーター

回数	月日	時限	講義室	講義内容	担当者	分野・診療科	到達目標	講義のキーワード
16	11/10(火)	1	121	国際社会と健康・疾病	尾崎 米厚	環境予防医学	国際保健の現状、課題、方法を説明できる。	世界の疾病の状況、国際保健の課題、開発と健康、ジェンダー、貧困、飢餓、国際保健の方法
17	11/17(火)	1	121	内分泌攪乱物質	黒沢 洋一	健康政策医学	生態系の変化が健康と生活に与える影響(内分泌攪乱物質)。	ダイオキシン、DES、PCB、BPA、スチレン・ダイマー、ホリマー、シックハウス症候群
18	11/18(水)	1	121	高齢者保健	天野 宏紀	健康政策医学	高齢者保健の実際、高齢者保健対策の概要を説明できる	老人福祉法、高齢者医療確保法、後期高齢者医療制度、介護保険法、要介護認定、ケアマネジメント、介護給付、介護予防、高齢者総合的機能評価(CGA)
20	11/18(水)	2	121	都道府県の衛生行政	藤井 秀樹 (非常勤)	環境予防医学	都道府県庁の衛生部の活動の実際、公衆衛生医の役割。	健康づくり活動、環境衛生、保健医療福祉システム作り、健康危機管理、喫煙対策、感染症対策、医師確保対策
21	1/13(水)	2	121	災害医療	尾崎 米厚	環境予防医学	災害医療の実態と課題を説明できる。	災害の種類と被害、災害拠点病院、健康危機管理、災害医療体制、救急搬送、広域搬送、トリアージ、災害時保健医療活動、原子力災害、メンタルケア
21	11/25(水)	1	121	救急医療	黒沢 洋一	健康政策医学	救急医療の実態と課題を説明できる	救急医療体制、一次救急、二次救急、三次救急、休日夜間医療、高度救命救急センター、救急搬送、救急救命士、小児救急、周産期救急
22	12/1(火)	1	121	有害物質、環境基準と環境影響評価	黒沢 洋一	健康政策医学	生態系の変化が健康と生活に与える影響(有害物質)、環境と健康・疾病との関係(環境基準と環境影響評価)を説明できる	環境基準、許容濃度、生体影響評価、環境影響評価、生物濃縮、量-反応関係、量-影響関係、リスクコミュニケーション、有機溶剤、特化物。酸欠。
23	12/2(水)	1	121	食品保健、薬事行政	天野 宏紀	健康政策医学	食中毒の実態、食品保健対策、薬事衛生対策、最近の薬害事例について説明できる。	食中毒、自然毒、食品衛生法、食品表示、食品添加物、遺伝子組み換え食品、保険機能食品、特別用途食品、健康食品、HACCP、薬事行政、薬害、医薬品副作用被害、生物由来製品感染、被害者救済制度、安全性と有効性の確保法
24	12/2(水)	2	121	感染症対策	金城 文	環境予防医学	日本と世界の感染症の実態、感染症対策の方法と課題について説明できる。	新興感染症、再興感染症、新感染症、感染症法、検疫法、予防接種法、サーベイランス、隔離、医療体制、特定感染症指定医療機関、院内感染症、患者搬送、アウトブレイク、パンデミック、バイオテロリズム、結核対策
25	12/15(火)	3	121	保健所の活動	吉田 良平 (非常勤)	環境予防医学	保健所の活動の実際、公衆衛生医の役割について説明できる。	健康づくり活動、環境衛生、保健医療福祉システム作り、健康危機管理、喫煙対策、感染症対策、医師確保対策
26	12/15(火)	4	121	地域医療システム、地域保健医療計画、病診連携、病病連携	黒沢 洋一	健康政策医学	地域医療の機能と体制(地域保健医療計画)、地域医療の機能と体制(へき地医療)、病診連携と病病連帯、について説明できる。	地域医療の定義、地域医療の要素、地域保健医療計画、医療圏、必要病床数、医療資源、都市部における地域医療、病診連携、医師会、地域医療政策
27	1/4(月)	1	121	公衆栄養	天野 宏紀	健康政策医学	公衆栄養の実態、課題、対策について説明できる。	国民健康栄養調査、食事摂取基準、推定エネルギー必要量、食事バランスガイド、主要栄養素の実態
28	1/5(火)	1	121	公衆衛生における対策事例	尾崎 米厚	環境予防医学	公衆衛生対策事例を理解する。	国(内閣府)におけるアルコール対策の事例をあげ、国際的動向に呼応し、立法化され、それに沿って省庁連携し、新たな対策を作り上げるプロセスを説明する。
29	1/6(水)	1	121	医療経済と国民医療費	天野 宏紀	健康政策医学	医療経済学の方法と適応事例を説明できる。	費用対効果、費用便益、国民医療費、医療費削減方法、診療報酬、公費医療、医療の質の評価、医療資源と医療サービスの価格形成
30	1/7(木)	1	121	公衆衛生のキャリアパス	黒沢 洋一	健康政策医学	公衆衛生分野の専門性の獲得方法、専門家養成方法を理解する。	公衆衛生専門職、公衆衛生大学院、MPH、公衆衛生医、産業医、海外留学、国際機関

人間力の要素:コミュニケーション力(共感的理解力)、知力(総合的判断力)

評価:定期試験、出席